

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 計画の基本的な記載内容																								
南海トラフ巨大地震対策計画で取り組むべき対策は初動体制などの応急活動計画と耐震対策などの戦略的に推進する対策の2本立てである。																								
(1) 応急活動計画																								
地震発生直後から概ね7日～10日目までの間に、初動体制の立上げ、被災状況の把握、応急復旧の対応及び復興支援など、緊急的に実施する活動と、当該活動を円滑に進めるために、 <u>平時から準備しておくべき内容である</u> ①。																								

① 項目だけではなく、その具体的な内容、つまり準備しておくべき内容を書きましょう。

(2) 戦略的に推進する対策																								
・住宅、建築物、宅地の耐震化を進める他、帰宅困難者・負傷者等を収容するための建築物の施設整備・機能強化を行う。																								
・海岸・河川堤防、水門・樋門、排水施設等の地盤の改良等の耐震・液状化対策を行う。																								
・大規模火災の発生が懸念される密集市街地では、延焼遮断帯として機能する幹線道路等の整備、老朽建築物の除却及び耐火建築物等への共同建替え等を行う。																								
・必要な避難場所が確保するため、指定避難施設の指定及び協定避難施設に関する協定締結を行う。																								
・津波災害警戒区域の指定など津波防災地域づくりを推進する。																								

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

・ 防 災 訓 練 や 防 災 教 育 な ど の 防 災 力 強 化 に 向 け た 日 頃
か ら の 備 え を 実 施 す る 。 ② 以 上

② 箇条書きは、避けましょう。また、誰の行動なのか良く分かりません。基本は、国土交通省の取り組むべき予防的な対策だと思います。自治体や民間の施設管理者などが行うべきものが混在していませんか。国としての行動ならば、推進や促進といった行動になるのではないのでしょうか。